



～つくし幼稚園（上陽町北川内）～



議会だより

や め

No.142 平成25年11月1日

■ P 2 **平成24年度一般会計決算**

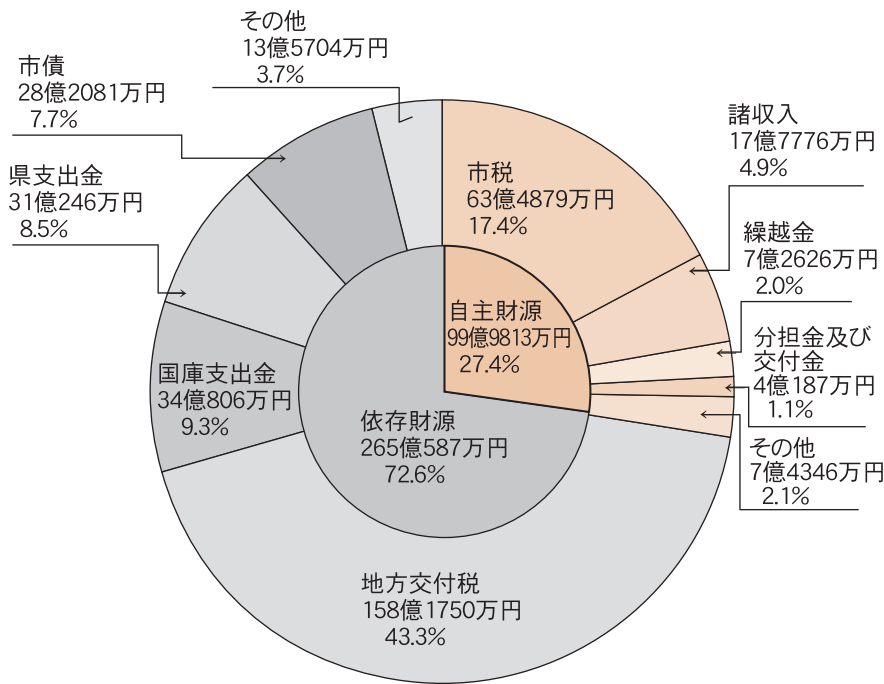
■ P 9 **仮設住宅を調査しました** ～厚生常任委員会～

■ P11 **11月に議会報告会を開催します**

■ P12 **ここが聞きたい!** 一般質問 **10人** の議員が登壇

的確に使われたか

歳入 365億400万円
(対前年比10億6690万円の増)



9月定例会は8月28日から9月20日までの24日間の会期で開催しました。開会日には一部事務組合議員の補充選挙を行いました。(P10)市長より提案された議案は、3億9375万円を追加する一般会計補正予算、条例改正案など議案12件と平成24年度決算認定(一般会計、特別会計11、水道事業会計)が提案されました。最終日に追加議案として、子育て支援総合施設(仮称)に関する工事請負契約の締結について1件、専決処分1件、人事1件、及び議員提出の意見書案2件が上程されました。いずれも原案どおり可決・同意しました(賛否表P18) 一般質問は10人の議員が登壇し、市政全般にわたり質問しました。

決算の概要

平成24年度の一般会計歳入歳出決算は、歳入総額が365億400万円、前年比3.0%の増加となっています。歳出総額は350億9370万円、前年比4.1%の増加となっています。歳入歳出差引額は、14億1029万円になり、そのうち2億8759万円が、翌年度へ繰越すべき財源であり、実質的な黒字は11億2270万円です。

◆歳入

歳入の主なものをみると市税が歳入全体の17.4%にあたる63億4879万円(対前年比2.1%減)、地方交付税が43.3%にあたる158億1750万円(対前年比4.9%増)で自主財源は27.4%(対前年比0.6%減)、依存財源は72.6%(対前年比0.6%増)となっています。

◆歳出

増加した主なものは、民生費、総務費、災害復旧費などで、九州北部豪雨による事業費の増加により災害復旧費が前年度より大きく増加しています。

24年度の主な事業は次のページをご覧ください。

平成24年度 一般会計決算

市の財源は

八女市の財政状況は？

○財政力指数【0.360】

地方公共団体の財政力を示す指数で、数値が1に近いほど財政力が強いとされています。なお1を超えると国からの普通交付税の交付を受けなくなります。

○経常収支比率【82.8】

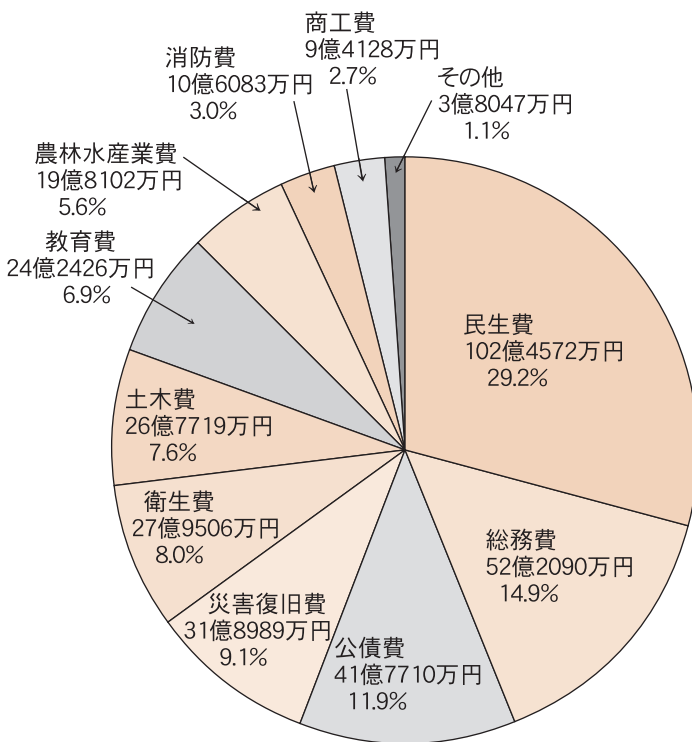
市税、普通交付税のように、経常的収入（常に見込める収入）のうち人件費、扶助費、公債費のように経常的支出（常に支払う必要がある支出）に充当されたものが占める割合です。

この数値が高いほど財政運営に余裕がないことを示しており、市で80%を超えると財政構造は弾力性を失いつつあると考えられています。しかし、多くの市町村で80%を超えている現状から、あくまで目安にしかならないと考えます。

○実質公債費比率【9.5】

標準財政規模に対して借金の返済額の割合を出したものです。18%以上となると地方債発行（借金）に国や県の許可が必要になります。

歳出 350億9370万円
(対前年比13億8287万円の増)



平成24年度 の主な事業

○八女東部スポーツ公園整備事業（新規）
5億396万円

サッカーコート2面が配置可能な天然芝の多目的グラウンド（フィールド面積21、982㎡）の整備工事を実施した。また、乗用芝刈り機などの大型備品を配備し、芝生養生後、平成25年度のオープンに向け整備を行った。

○やめっ子夢祝金事業（新規）
2045万円

八女市の未来を担う子ども誕生と健やかな成長を願い、出生児1人に対して5万円の「やめっ子夢祝金」を409名に支給した。

○へき地へりポート整備事業
6749万円

矢部村・星野村の2カ所にへりポートを整備したことで、搬送時間の短縮ができ、治療開始の遅れが解消されるようになった。

○緊急放送FM告知受信機設置等整備事業（新規）
1億1696万円
市内全世帯にFM告知受信機を配付した。受信が困難な世帯には難聴対策を行い、情報通信手段の整備を図った。

○住宅用太陽光発電システム設置推進事業（新規）
2627万円
住宅用太陽光発電システムを設置する者に対し、補助金を交付することにより、市民による自然エネルギーの利用を促進し、自然エネルギーの有効活用による環境負荷の少ない環境型社会を構築するため助成した。
(補助件数271件)

議会からの提言

決算審査特別委員会とは？

前年度の予算が議会の議決の趣旨に沿って適正に執行され、かつ行政効果及び住民サービス・住民福祉の向上にどのように役立ったかなど、所期の目的の達成度を審査する特別委員会です。

この特別委員会は、議長及び議会選出監査委員を除く議員全員で構成され、分科会(各常任委員会)ごとに審査が行われました。

認定第1号

平成24年度八女市各会計歳入歳出決算認定について
総務文教分科会所管に属する事項

【一般会計】

①空き家バンクについては、きめ細やかな空き家情報の発信を求める。
また、全市一帯とした対策を講じられるよう指摘する。

②防災については、住民とともに災害訓練の場を増やし、行政区などの小さい集団で訓練を行い、指定された避難所における食料等の確保、特に学校など公的な場所での食料等の確保については早急に対応されるよう要望する。

③徴収事務については、「わかりやすい対応」が最も重要であり、職員は市町村財政の根幹を担っているこの自負を持ちながら事務にあたられるよう要望する。

④八女東部スポーツ公園については、利用率の向上に努め、合わせて八女東部地域の活性化に寄与されることを要望する。

⑤特定健診並びに各種検診について、受診率のさらなる向上を図られるよう指摘する。

⑥国民健康保険事業費特別会計

⑦国保会計について

【一般会計】

①下水道整備区域外の浄化槽推進に向け、浄化槽設置整備事業補助金の増額を行うことにより、浄化槽推進体制の強化を図るよう要望する。

など、国保会計安定化のための措置を講じられるよう指摘する。

②医療費を削減するためにも各種検診等の受診率向上を図りたい。さらに、ジェネリック医薬品の利用拡大に向けた施策の強化が必要であり、医師会との連携を密にするとともに、利用拡大に向け市民への啓発をおこなうよう要望する。

【住宅新築資金等貸付事業費特別会計】

①住宅新築資金等貸付事業については、法的措置も含め収納率の向上に向けた対策を強化されるよう指摘する。

【介護保険事業費特別会計】

①介護保険料の改正に伴い保険料の滞納額が増加している。今後、さらなる収納率の向上に向けた対策を強化されるとともに、介護予防事業についてもさらに事業効果が高められるよう要望する。

②すべての市民が住み慣れた自宅や地域で生活できるよう、在宅介護サービスの充実も図られるよう要望する。

【下水道事業特別会計】

①下水道使用料において、高額な未納が発生している。未納解消に向けて、最善の対策を講じるよう指摘する。

認定第2号

平成24年度八女市水道事業会計決算認定について

①水道料金において、高額な未納が発生している。未納解消に向けて、最善の対策を講じるよう指摘する。

※紙面の都合上、要旨を掲載しています。

厚生分科会所管に属する事項

【一般会計】

①下水道整備区域外の浄化槽推進に向け、浄化槽設置整備事業補助金の増額を行うことにより、浄化槽推進体制の強化を図るよう要望する。

子育て支援総合施設（仮称）の工事請負契約を締結

受注者 東急建設株式会社九州支店

契約金額 4億4520万円



施設の南側からの完成予想図

問 今回の入札は2回目ということだが、1回目の入札業者は入っていたのか。

答 2回目の入札に1回目の入札業者は入っていない。

問 2回目の指名業者の数は。

答 2回目の入札で、指名した業者の数は15社である。

問 落札業者と2番目の業者の入札額の差は。

答 議会の議決を受けた後に、ホームページでの公開を予定している。

八女市防災会議

委員を2名増、自主防災組織からも

議案第69号

八女市防災会議条例の一部を改正する条例の制定について

提案理由

災害対策基本法の一部を改正する法律の施行に伴い、必要な改正をしようとするもの

問 今回の条例改正で、

「自主防災組織を構成するもの又は学識経験のある者」が追加され、委員の数が増えるが、現在八女市ではいくつも自主防災組織を組織されている。その中から代表者を選出するのか。

答 2名の増加をするが、選出については、多面的な観点から人選をしていきたいと考えている。

自主防災組織の中から

ぜひ選出をしたいとは考えているが、女性の登用等も含めて色々な形で、今後人選をしていきたい。

自主防災組織とは

災害に備え、行政区や町内会等が自発的な防災活動を行うために、自主的に結成された組織をいいます。

八女市内の組織率は94.8%で全国平均77.4%を上回っています。

委員会審査

総務文教

審査の主なもの

- 平成25年度八女市一般会計補正予算 (全員賛成で可決)
- ・企画費 1,000万円
 - ・情報政策費 73万5千円
 - ・体育施設費 94万5千円

情報通信網の地域格差解消

一般会計補正予算

歳出の主なものとして、地域情報通信基盤光ケーブル整備工事費追加1千万円は、光ファイバーの新規加入者に対する工事費の追加である。

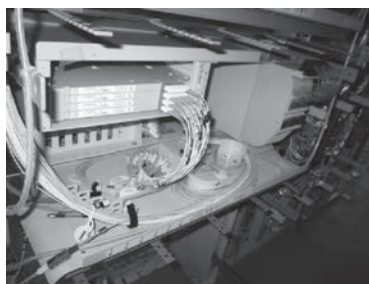
また、サーバー室空調機改修工事費73万5千円は、各種システムサーバー機器の電算サーバー室での集中配置などに伴う熱量増に

対応するため、空調機の増設改修工事をおこなうもの。その他、八女東部スポーツ公園の施設維持管理に要する賃金として94万5千円を追加するものである。

問 企画費1千万円の地域情報通信基盤光ケーブル整備工事について、対象地域はどこか、設置状況はどれくらいで、今後も設置対応されるのか。

答 八女東部が中心であり、対象世帯1万200世帯のうち加入済み世帯は2266世帯で、加入率は22.2%となっており、目標値としては、対象世帯の50%としたい。

工事費の補助について



光ケーブルを集約している設備

は、その都度状況を判断しながら検討したい。

東部地区の可燃ごみ袋料金を統一

旧八女市のごみ袋



現在の可燃袋は、旧八女市と立花町では、1袋につき大袋40円、小袋30円である。東部地区の黒木町、上陽町、矢部村及び星野村では、大袋のみ21円である。本年4月から、八女東部地域も八女西部広域事務組合のごみの共同処理することとなり、可燃ごみ袋の料金を平成26年4月から統一する。

問 大袋1袋40円の積算根拠は。

答 県内の27市と近隣の広川町を調査した結果、1袋平均47円〜48円であった。八女市の1袋料金は、それより安価であるが現価格を維持する。

問 現在の東部地区使用の可燃ごみ袋の取り扱い

答 平成26年4月以降3カ月間は使用できない。

問 一般会計補正予算 今回の補正では、96万3千円の指定寄付金があり、学童保育事業指導員の充実が図られるが、次年度以降の指導員体制はどうなるのか。

答 委託先との協議を行いながら、次年度も指導員体制の維持に努める。

厚生

審査の主なもの

- 八女市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例の制定について (全員賛成で可決)
- 平成25年度八女市一般会計補正予算 (全員賛成で可決)
- ・社会福祉費 355万5千円
 - ・児童福祉費 4.179万3千円

人事案件

人権擁護委員

次の方を推薦することに同意しました。

ふる かわ せい じ
古川 正二氏(再任)

え さき ち か こ
江崎 智香子氏(新任)

しゅう とく しゅう ご
秀徳 正吾氏(再任)

もり まつ る み
森松 留美氏(新任)

人権擁護委員とは

法務大臣から委嘱された民間の人たちです。この制度は、地域住民の中から人格見識の優れた人たちを選び、その協力を得て、日常生活の中で人権尊重思想の普及高揚を図るとともに、人権侵害による被害者を救済し、人権を擁護していくという考えから設けられたものです。

建設経済

審査の主なもの

○平成25年度八女市一般会計補正予算

(全員賛成で可決)

- ・新規就農者総合支援事業 975万円
- ・バイオマス事業費 476万5千円
- ・土木災害復旧費 1億3,100万円

新規就農者交付金1人150万円・夫婦225万円

農業総務費

問 新規就農者は何人増

加し、その内訳は。

答 今回の補正は、個別新規就農者が5名で、1人年間150万円、夫婦で年間225万円、合計975万円。当初は、10名だったが、17名になった。初めて農業される方が5名、実家が農家で、親元での就農が12名(うち1名)。

委託料

問 九州で大規模なバイオマス発電施設が数カ所

出ているが、八女市の考え方は。

答 燃料が市内でまかなえる、中規模施設を考えている。地域の雇用創出など、経済効果も含めた所で検証する。

バイオマス農業施設実証事業

問 この事業の内容は。

答 生コンクリートは、市内のプラントが再稼働できる見込みもあり、そうなれば安定供給が出来る。人手不足の心配もある。

答 500坪のイチゴハウスで実証する。JAふくおが

八女、県、商工会議所の

協力を仰ぎながら進める。

土木災害復旧費

問 生コンクリートは、供給不足で高騰しているとい

うが、他の資材も含め供給体制は大丈夫か。

答 生コンクリートは、市内のプラントが再稼働できる見込みもあり、そうなれば安定供給が出来る。



災害当時の笠原地区

が、工法を変えるなどして、人手不足、資材不足を補っていく。

問 災害復旧の遅れは心配なのか。

答 入札不落が増えてきたが、随意契約においてほとんど契約を取り付けている。

意見書

森林面積に応じて譲与せよ

「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保」を 求める意見書（抜粋）

地球温暖化防止をより確実なものとするためには、森林の整備・保全等の森林吸収源対策や豊富な自然環境が生み出す再生可能エネルギーの活用などの取り組みを、山村地域の市町村が主体的・総合的に実施することが不可欠である。

しかしながら、これら市町村では、木材価格の暴落・低迷や林業従事者の高齢化、後継者不足など厳しい情勢にあり、その結果、山そのものが荒廃し、自然災害等の脅威に国民の生命財産が脅かされるといった事態が生じている。

これを再生させることと共に、森林吸収源対策などの地球温暖化対策に取り組むための恒久的・安定的な財源確保を講ずることが急務である。

よって、下記事項の実現を強く求めるものである。

記

自然災害などの脅威から国民の生命財産を守るための森林・林業・山村対策の抜本的な強化をはかることに加え、二酸化炭素吸収源として最も重要な機能を有する森林の整備・保全等を推進する市町村の役割を踏まえ、「石油石炭税の税率の特例」による税収の一定割合を、森林面積に応じて譲与する仕組みの構築を強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成25年9月20日

福岡県八女市議会

提出先 内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、農林水産大臣、環境大臣
経済産業大臣、衆議院議長、参議院議長

「地方税財源の充実確保」を求める意見書（要旨）

地方財政は、社会保障関係費などの財政需要の増加や地方税収の低迷等により、厳しい状況が続いている。

こうした中、基礎自治体である市が、住民サービスやまちづくりを安定的に行うためには、地方税財源の充実確保が不可欠である。

よって、国においては、下記事項を実現されるよう強く求める。

記

- 1 地方交付税の増額による一般財源総額の確保について
- 2 地方税源の充実確保等について

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成25年9月20日

福岡県八女市議会

提出先 内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、内閣官房長官、内閣府特命担当大臣

仮設住宅を調査しました

厚生常任委員会
7月17日



黒木総合支所に隣接する仮設住宅

九州北部豪雨から1年 入居期間は原則2年 今なお続く仮設住宅での生活

昨年7月の九州北部豪雨による家屋倒壊等により居住できなくなった世帯が、被災から1年を経過した現在、今もなお仮設住宅での生活を余儀なくされています。

仮設住宅は、県が設置し、入居期間は平成24年8月24日から平成26年8月23日までの2年間の原則としており、黒木総合支所管内では下町団地、東今団地の2団地となっており、合計18世帯・52名の入居状況にあります。

7月17日現在の入居状況	
下町団地	8世帯 20名 (現在入居 9戸)
東今団地	10世帯 32名 (現在入居 11戸)

入居者52名の年齢構成	
0歳～19歳	7人
20歳～64歳	27人
65歳以上	18人

地域別の入居状況	
黒木地区 (串毛)	2世帯 5名
(笠原)	13世帯 42名
長野地区	1世帯 1名
星野地区	1世帯 3名
立花地区	1世帯 1名
合計	18世帯 52名

入居者18世帯の内、65歳以上の高齢者がいる世帯 12世帯
 一人暮らしの世帯 6世帯
 (内65歳以上の高齢者だけの一人暮らし世帯 4世帯)
 以上が入居者状況であるが、委員会は仮設住宅の現状と今後の対策について調査を行い、同時に入居者への面談・聞き取り調査を行った。



- 調査を終えて
- ①入居者の個別の事情により、今後どのような考えで住居確保を望んでおられるのか、市が聞き取り調査を行う際には、入居者の意見を拝聴し、必要な場合相談に応じて市営住宅・民間のアパート並びに市内の空き家情報を適時提供し、住居の確保に向け支援を行うべきである。
 - ②仮設住宅での生活が1年を経過し、さらに心のケアが重要となってくる。そのため保健師が個別に面談し、入居者の健康管理に取り組んでいく必要がある。
 - ③仮設住宅での生活が長引く事も考えられることから、市は仮設住宅の管理・運営について県と協議を行うなどして、今後の運営方針を検討していく必要がある。

一部事務組合・企業団議会議員は、
次のとおり選出されました。

八女地区消防組合
議会議員

川口 誠 二

構成市町
(八女市、広川町)

公立八女総合病院
企業団議会議員

月足 靖彦
井上 賢治

構成市町
(八女市、広川町)

八女中部衛生施設
事務組合議会議員

小川 栄一

構成市町
(八女市、広川町)

八女西部広域事務
組合議会議員

三角 真弓

構成市町
(八女市、筑後市、広川町、
大川市、大木町、久留米市)

一部事務組合とは

複数の普通地方公共団体や特別区
が、行政サービスの一部を共同で行うこ
とを目的とした設置する組織です。

本会議

- | | |
|------------|--------------|
| ①市長からの提案説明 | ⑤委員長報告 |
| ②議案に対する質疑 | ⑥委員長報告に対する質疑 |
| ③委員会付託 | ⑦討論 |
| | ⑧採決 |

議会Q&A

議案等の審議の流れを
わかりやすく説明します

最終日に委員会としての審査結果を
報告するために本会議にもどる

委員会に付託すべきと
された議案

各常任委員会

- ④各常任委員会(総務文教、厚生、建設経済)で審査し、委員会としての
賛成・反対を決定する

第4回

議会報告会を開催します

みなさんに身近で開かれた議会をめざして

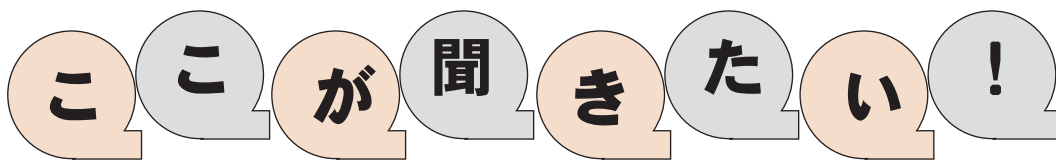
地区名	月 日	開始時間	会 場	担当
八女市	福島	11月 6日 (水)	19:00 八女市役所 205会議室	3班
	長峰	11月 7日 (木)	19:30 長峰小学校体育館 ミーティングルーム	2班
	上妻	11月13日 (水)	19:30 八女市総合体育館 研修室	1班
	三河	11月15日 (金)	19:30 八女市多世代交流館 (共生の森)	5班
	八幡	11月18日 (月)	19:30 西公民館	2班
	川崎	11月 1日 (金)	19:30 東公民館	1班
	忠見	11月10日 (日)	19:00 忠見公民館	4班
	岡山	11月18日 (月)	19:00 室岡公民館	4班
上陽町	上陽	11月19日 (火)	19:00 上陽公民館	5班
黒木町	黒木	11月21日 (木)	19:00 黒木開発センター	5班
	豊岡	11月11日 (月)	19:00 豊岡コミュニティセンター	3班
	串毛	11月16日 (土)	19:00 串毛コミュニティセンター	4班
	木屋	11月11日 (月)	19:00 木屋農村環境改善センター	4班
	笠原	11月 6日 (水)	19:30 笠原集会所	2班
	大淵	11月 8日 (金)	19:00 大淵基幹集落センター	1班
立花町	光友	11月13日 (水)	19:00 市民センター (旧立花町民センター)	3班
	辺春	11月13日 (水)	19:00 辺春コミュニティセンター	5班
	北山	11月13日 (水)	19:00 北山コミュニティセンター	2班
	白木	11月25日 (月)	19:00 白木コミュニティセンター	1班
矢部村	矢部	11月 8日 (金)	19:00 矢部公民館	5班
星野村	星野	11月 7日 (木)	19:00 星野支所 大集会室	3班

八女市議会では、21の地区単位で議会報告会を開催します。
この議会報告会は、市民のみなさんと議員が自由に情報及び意見を交換すること
として、議会の活動状況や結果を知ってもらうことと、議員の議会活動等に対する意見、
ご提言による議会活動を活性化させ、今後のよりよいまちづくり活動につなぐた
め開催するものです。ごなたでも参加できますので、ご都合のよい会場へお気軽に
お越しください。

「八女市議会基本条例」
第6条 議会は、市政全
般にわたって、議員及び市
民が自由に情報及び意
見を交換する議会報告
会を行うものとする。

◎は班長、○は副班長

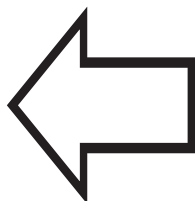
- 1班 ◎服部良一、○川口奉文、川口誠二、樋口安癸次、草場賢一郎、萩尾洋
- 2班 ◎栗原吉平、○月足靖彦、井上賢治、栗山徹雄、中島信二、石橋義博
- 3班 ◎中島富定、○三角真弓、松崎辰義、寺尾高良、吉田達志、小川栄一
- 4班 ◎橋爪房義、○井上寿義、森茂生、井本政弘、樋口良夫、牛島孝之
- 5班 ◎角田恵一、○大坪久美子、赤木達男、朽網英文、松木道、伊井渡



一般質問

月日	質問者氏名	質問事項
9月2日 (月)	樋口良夫	1 今後の市道管理について
		2 九州北部豪雨災害復旧後の農産物の助成措置について
		3 食育について
	小川栄一	1 環境総合計画について
		2 教職員の不祥事について
		3 子育て支援について
	森茂生	1 憲法について
		2 生活保護について
	萩尾洋	1 省エネ対策について
		2 災害時の水確保について
		3 新市庁舎建設について
	9月3日 (火)	樋口安次
2 鞍懸町内道路改修について		
3 雇用促進住宅の買収について		
4 県道柳瀬筑後線バイパスについて		
5 県道玉名八女線矢部谷峠のトンネル実現について		
三角真弓		1 行財政改革について
		2 行政組織のセーフティネットをどのように考えていくのか
大坪久美子		1 鳥獣被害対策について
		2 八女観光物産館について
橋爪房義		1 市勢力をアップする八幡校区施策の実行に向けて
		2 上陽・上横山地区の交通環境の早期改善について
9月4日 (水)	牛島孝之	1 行政財産、普通財産の今後の利用及び処分(売却)について
		2 八女市の教育の現状について
		3 建設課など事業課における人員の定数及び業務執行状況について
	松崎辰義	1 環境問題について

《一般質問の詳しい内容》





樋口 良夫



今後の道路管理は？

道路愛護事業で世帯の減・高齡化等で作業困難地域にどう取り組むのか

答 地域によって状況も違うので今後検討していきたい

問 市道は本来市が管理すべきであるが、地域の道路は地域で守る精神で道路愛護事業が行なわれて来た。しかし農林業の不振等で世帯が減少し、高齡化等で作業困難になつてきているが、施業道路距離は同じである。また、使用機械燃料費等

いきいき行政区運営交付金の中から経費を出費している地域もあるが、世帯の減少で減額されている。早急の課題として、施業距離数による助成金制度設置は出来ないのか。

答 特に八女東部は過疎、高齡化が進み、しかも道路と農地の高低差が激しく、除草の際非常に危険で、また、長距離を一日がかりの行政区もあり、使用機械燃料費を含め経費面も認識しているが、道路愛護事業に対しての交付金制度設置は難しい。地域の状況も違うので、今後十分検討したい。

食育指導について

問 現代病の生活習慣病が増大している中、小学校からの食生活指導がより重要視されるが、

答 望ましい食生活を身につけさせるため、家庭にも食生活改善を図る様に食育指導をして行く。

環境統合計画が最終10年目を迎えているが、進捗状況は

答 市が取り組む136項目中24項目が未実施となっている



小川 栄一



問 未実施項目の内容は。多くのウエートを占めているのが、自然環境指導員、ごみ減量化の指導員、環境保全の指導員等の人材育成である。

答 H16年からH25年までの10年計画だが、中間総括をした時に、合併協議が入って遅れた。合併とはいえず反省している。

問 遅れた河川浄化市民会議の立ち上げは？

答 7月に募集を始め、9月の再募集で18名です。団体への働きかけもやり間違いなく進める。

教職員の不祥事について

問 教職員の不祥事が続いている。教育行政トップの教育委員長の見解を。

答 教育委員長として事の重要性を再認識している。保護者や市民の気持ちを大切にしながら再発防止に努め、不祥事撲滅のための指導を教育委員会として強化していく。

問 教育への信頼をとりもどして欲しい。方策は。

答 教員の任命権処分権は県にあるが、内申権と服務監督は市教委にある。学校生活の安心安全の為人事面でもっときつただけの努力はしていきたい。

憲法を守らなければならないのは誰か

答 天皇、大臣、議員、裁判官等全ての公務員



森 茂 生

問 憲法を守るのは「国民」と錯覚している人が大変多い。憲法を守らなくてはならないのは「公務員」を行う全ての公務員か。

憲法について

問 憲法を守るのは「国民」と錯覚している人が

大変多い。憲法を守らなくてはならないのは「公務員」を行う全ての公務員か。

八女市条例の「憲法を尊重し擁護する宣誓」をし

なければならないのは誰か。

答 全ての正規職員。

生活保護法について

問 お笑いタレントの母親が、生活保護を受けていた問題。マスコミが不正受給のように繰り返し報道したため保護を受けている



人が、白い目で見られた。市の見解は。

答 不正受給ではない。

問 保護を受けている人が被災され、義捐金を受け取った。ところが、福祉

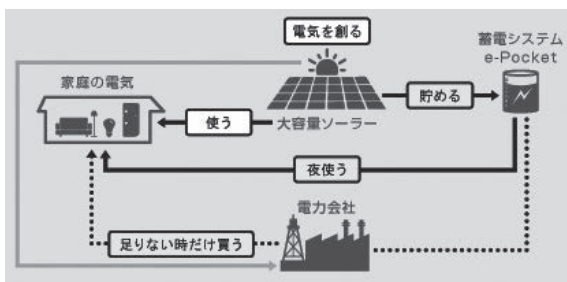
事務所の所員が「義捐金の1万3千円は収入と認定、保護費より差し引く」と言った。義捐金は収入と認定しなくて良いのでは。

答 次官通知により、収入として認定した。

問 非常に省エネ効果があったと聞いているが、実質的に何%位の効果があったのか。

答 基準年の光熱水費から4%から32%程の削減率である。

問 八女市にも1千万円以上の光熱水費を要して



萩 尾 洋

福岡市の省エネ対策の現況調査の結果は

答 事業所省エネ技術導入サポート事業を実施しており、確実に実績は上がっている

災害時の水確保について

問 プール水の循環ろ過装置導入を検討したのか。

答 水道事業としてその分を飲用水に使用するには、水道法に基づき50項目以上の水質検査基準をクリアしなければならず、今のところ飲料水関係の浄化装置の導入は考えていない。

新市庁舎建設について

答 駐車場関係や行政棟と議会が分離して設置されている等、市民・議員の皆様には非常に御不便をかけているが、第4次総合計画を着実に災害復旧と並行して進めることが市民の皆様方にとって極めて重要であると考えている。

山下地区の洪水による水浸しの改善について

答

山下地区水害対策勉強会を立ち上げ、方策を検討中

問 鞍懸町内道路改修について

答 道路改修について実態把握を含め地元行政区と協議、検討する。

問 雇用促進住宅の活用は

答 市営住宅等として検討する。

問 県道柳瀬筑後線のバイパスについて

答 今路線の早期実現に向けて県に強くお願いし、事業促進に努めていく。

問 県道八女線矢部谷峠のトンネル実現について

答 トンネル整備に向け、国及び福岡、熊本両県へさらなる要望活動に努める。



樋 口 安癸次



八女市立花町北山地区山下

超高齢化、少子化が進む中、26年度の予算編成をどのように考えるのか

答

国の制度を最大限に活用し、新たなニーズに対応する



三 角 真 弓



問 国の借金・債務残高が1千兆円の大台を突破する中、過疎化と人口減少が進む自治体への悪影響はさらに深刻になる。

答 財政運営に対する地域住民の信頼感を高めることが重要になってくる。27年度からは合併算定替えによる普通交付税の削減にもなってくる。少子・高齢化社会に対応できる施策の重要性と共に、財政改革をどのように考えていくのか。

問 行政組織のセーフティネットワークをどのように考えていくのか

答 多様化した社会の中で行政の安全網をどのようにに広がりを持たせるか、特に福祉部門における現状と課題は。

問 高齢化社会に対応できる施策の重要性と共に、行政改革をどのように考えていくのか。

答 機構改革における保健医療と高齢化対策の充実を図る。保健師活動の方向性を明確にし業務の平準化を図っていく。

問 引き続き災害の復旧に取り組みながら、限られた財源の中で予算の重点配分を行い、少子・高

答 教育委員会の充実を図る目的で移動教育委員会等を充実していく。

鳥獣被害の自衛による捕獲者には、防止特措法の支援は適用できないか

答 自衛箱わなの捕獲者は、補助の対象とは考えていない



大 坪 久 美 子



八女観光物産館ときめき

問 昨年改正された、鳥獣被害防止特措法の目玉は、鳥獣被害対策実施隊への重点的支援である。自衛で活動をしている捕獲者には、この特措法は当てはまらないのか。

答 捕獲員として委嘱した猟友会員については、八女市全域にわたり捕獲活動に取り組んでおり、奨励金候補の対象としている。自衛箱わなの捕獲者については、平成24年度から狩猟者登録が不要となり、狩猟税納付も必要がなくなり、捕獲奨励補助の対象とはしていない。

問 八女観光物産館について

問 八女の旬の野菜や花を販売して、収入を少しでも増やす事が大事なので

答 八女市観光の入り口として、合併により広域となった八女市内の物産加工品、工芸品を一堂に集め、効率よくPRし商品販売を行う目的で建設した。旬の野菜や花は、近隣施設との競合を避けるため販売は行っていない。しかし、今後は高校生が育てた花苗なども販売できるように進めて参りたい。

問 本年度の八幡小の児童数は113名である。平成30年度には、92名ほどに減少する。増加策の検討は。

答 複式学級への可能性は十分にある。通学区の自由化は、弾力的に実施しているが、登下校の問題もあり、今のところ市



県道 船小屋、八女線(川犬地内)



橋 爪 房 義

市勢をアップすべき今、県南との交流起点八幡校区を今後どう考えるのか

答 市共通の課題であるが、子育て支援等人口増加策を進める

内各小学校児童数の平均化調整は考えていない。

問 主要道路の整備は。

答 県道唐尾広川線溝口バイパスから同船小屋八女線接点の間、新庄の5差路、県道柳瀬筑後線の狭小区間など未整備区間は承知している。県営筑後広域公園や新幹線船小

屋駅へのアクセス道路として、重要性も増しており、八幡校区の道路網の整備促進に努める。

問 主要地方道田主丸黒木線藤木から納又まで、約8・5km区間の拡幅改良工事の早期着工を地域の全住民が熱望している。

答 地元陳情緊急4ヶ所のうち、馬場野地内の測量は終わった。重要な路線として認識しており、福岡県への要望活動を強める。

問 岩下橋の復旧計画は。

答 幅員4m、橋長28・3m、県工事で26年度完成予定。



牛島 孝之

八女市独自として考える教育方針とはどのようなものか

答 八女市の良さを学ぶ仮称「八女ふるさと学」を推進したい

問 日本語教育について八女市として今後実施する考えはないか。

答 八女市全域において実施することは現時点では困難である。

職員採用試験について

問 技術職員の採用について社会人枠という考えはあるのか。

答 今後は一般職も含めて社会人枠の募集についても検討していきたいと考えている。



日本語教育の教科書

問 行政財産、普通財産の今後の利用および処分について

問 市として不要となっている財産についてどのように考えているのか。

答 今後、将来的にも不要な財産については積極的に売却等を進めていきたい。

問 来年4月廃校になる小学校3校及び福島保育所廃止後の跡地利用について市の考えは。

答 地域の方々から意見を聴取し、理解を得ながら今後最大限に有効活用できるよう研究、検討していきたい。

「うすま・ふあーむぱーく」は、サニックスの汚泥搬入量を増やすと聞か

答 社長いわく、自分から減らす話をした、と聞く



松崎 辰義

環境問題について

問 「うすま・ふあーむぱーく」が、サニックスからの搬入量を自主的に減らしたと言われたが、平成23年6月議会では次のように答弁されている。「当時、悪臭防止法の基準値が守られていないということで、市としては改善勧告を出し、悪臭防止法に基づく法的指導として会社との交渉を行った。搬入量をトラック3台から1台にしてくれというのは、搬入の原料に問題があるとの判断で原料を減らしてくれと、原料を減らすこと

に力点を置いた指導を行った」と。

そして、一番問題はそれのことをきちんと書面に、また記録として残していないことだ。ずさんだったのではないが。

答 基準値をオーバーしての対応だから、これは指導と判断せざるを得ない。記録については、極めて重要なことは記録に残して置く必要がある。

記録がないことで、疑惑とか問題点が発生するといったことは十分注意をしていく。



工場

9月定例会で審議した議案の賛否

【○は賛成・●は反対・－は議長職のため採決には加わりません】

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30			
	三 角 真 弓	小 川 栄 一	石 橋 義 博	伊 井 孝 之	牛 島 洋	萩 尾 一	角 田 良	服 部 一	中 島 信	草 場 賢 一 郎	吉 田 達 美 子	大 坪 久 美 子	橋 爪 房 義	寺 尾 高 良	栗 原 吉 平	樋 口 良 夫	松 木 道	井 上 寿	月 本 靖 彦	井 本 政 弘	中 島 富 定	川 口 奉 茂	森 網 英 文	朽 栗 山 徹 雄	栗 井 賢 治	赤 木 達 男	松 崎 辰 義	樋 口 安 次	川 口 誠 二				
八女地区消防組合 議会議員の補充選挙																																	
公立八女総合病院企業団 議会議員の補充選挙																																	
八女中部衛生施設事務組 議会議員の補充選挙																																	
八女西部広域事務組 議会議員の補充選挙																																	
報告第9号	報告事項のため採決はありません																												-				
報告第10号	報告事項のため採決はありません																												-				
報告第11号	報告事項のため採決はありません																												-				
報告第12号	報告事項のため採決はありません																												-				
報告第13号	報告事項のため採決はありません																												-				
報告第14号	報告事項のため採決はありません																												-				
報告第15号	報告事項のため採決はありません																												-				
報告第16号	報告事項のため採決はありません																												-				
報告第17号	報告事項のため採決はありません																												-				
議案第64号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
議案第65号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第66号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第67号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第68号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第69号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第70号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第71号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第72号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第73号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第74号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第75号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第76号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第77号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
認定第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
認定第2号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に 関する地方の財源確保」を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
「地方税財源の充実確保」を求める意見書	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
人権擁護委員候補者の推薦について	適任と認めました																																

9月定例会で審議した議案の結果

9月定例会

選挙	八女地区消防組合議会議員の補充選挙	《川口 誠二》	当選 (指名推選)
選挙	公立八女総合病院企業団議会議員の補充選挙	《月足 靖彦》 《井上 賢治》	当選 (指名推選)
選挙	八女中部衛生施設事務組合議会議員の補充選挙	《小川 栄一》	当選 (指名推選)
選挙	八女西部広域事務組合議会議員の補充選挙	《三角 真弓》	当選 (指名推選)
報告第 9号	専決処分について (市道陥没事故による損害賠償)		報告
報告第10号	専決処分について (交通事故による損害賠償)		報告
報告第11号	専決処分について (交通事故による損害賠償)		報告
報告第12号	医療法人財団クリニックくろぎの平成24年度決算及び平成25年度事業の計画の報告について		報告
報告第13号	株式会社クリエイトやべの平成24年度決算及び平成25年度事業の計画の報告について		報告
報告第14号	一般財団法人星のふるさとの平成24年度決算及び平成25年度事業の計画の報告について		報告
報告第15号	一般財団法人秘境柚の里の平成24年度決算及び平成25年度事業の計画の報告について		報告
報告第16号	一般財団法人FM八女の平成24年度決算及び平成25年度事業の計画の報告について		報告
報告第17号	平成24年度八女市健全化判断比率及び資金不足比率の報告について		報告
議案第64号	八女市附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例の制定について		可決
議案第65号	八女市税条例の一部を改正する条例の制定について		可決
議案第66号	八女市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例の制定について		可決
議案第67号	八女市簡易水道設置条例の一部を改正する条例の制定について		可決
議案第68号	八女市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について		可決
議案第69号	八女市防災会議条例の一部を改正する条例の制定について		可決
議案第70号	八女市災害対策本部条例の一部を改正する条例の制定について		可決
議案第71号	市道路線の廃止について		可決
議案第72号	平成25年度八女市一般会計補正予算 (第2号)		可決
議案第73号	平成25年度八女市簡易水道事業費特別会計補正予算 (第1号)		可決
議案第74号	平成25年度八女市介護保険事業費特別会計補正予算 (第1号)		可決
議案第75号	平成25年度八女市水道事業会計補正予算 (第1号)		可決
議案第76号	専決処分について (平成25年度八女市一般会計補正予算 (第3号))		承認
議案第77号	工事請負契約の締結について		可決
認定第 1号	平成24年度八女市各会計歳入歳出決算認定について		認定
認定第 2号	平成24年度八女市水道事業会計決算認定について		認定
意見書案第3号	「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保」を求める意見書		可決
意見書案第4号	「地方税財源の充実確保」を求める意見書		可決
人権擁護委員候補者の推薦について	《古川 正二》 《江崎 智香子》 《秀徳 正吾》 《森松 留美》		

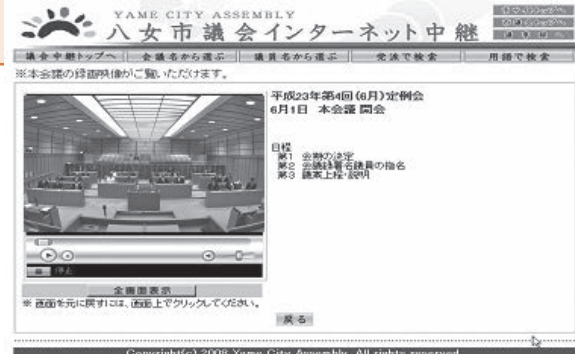
インターネットで議会中継

八女市議会

検索

インターネットから議会の様子を生中継でご覧になれます。録画中継も生中継終了後3日程度(土・日及び祝祭日を除く)で見ることができます。会議名や議員名、用語でも検索できますので、ぜひご覧ください。

http://www.city.yame.fukuoka.jp/gikai/gikai_top.html



議会を傍聴してみませんか?

市政の動向を知るには、議会を傍聴するのが一番です。議員と市執行部とのやりとりを直接ご覧になってみてはいかがでしょうか。事前予約は いりません。どなたでも傍聴できますので、ぜひお越しください。

日程など、詳しいことは議会事務局へお問い合わせください。

TEL 0943-23-4922

FAX 0943-23-4929

E-mail yame_city_gikai@city.yame.lg.jp

議会の主な動き

- 11月5日(火) 高知県香南市行政視察来庁
鹿児島県肝付町行政視察来庁
- 6日(水) 定例全員協議会
千葉県八街市行政視察来庁
- 7日(木) 八女地区消防組合議会
大阪府貝塚市行政視察来庁
- 15日(金) 筑後6市議会議員研修
- 18日(月) 八女中部衛生施設事務組合議会
- 19日(火) 東京都調布市行政視察来庁
- 20日(水) 総務文教常任委員会定例会

次回定例会は 12月の予定です。

午前10時～立花庁舎議場

しかし、金融緩和では円安に歯止めはかからず、ただでさえ高い輸入品であるガソリン、石油製品を始め電気料金、生活用品などこまで値上がりするののか、大変危惧します。

仕事は大変で辛かったけど、頑張れば報われた昭和後期を懐かしく思います。

我が国の借金は、ついに1千兆円を超えました。赤字国債発行の元となつている国民の純金融資産は約150兆円程ですので、もう赤字国債発行は限界に近づいています。

もし、赤字国債が発行できなければ、国・地方の予算は、現在の約6割かと思えますが、どんな行政、世の中になるのか想像がつきません。そういった事を避けるために苦肉の策として、金融緩和に至ったと思います。

こんな時代だから心温まる話題をともしましたが、今はただただ誰もが仕事があり、頑張れば報われる、最低限の生活は出来る、格差の少ない、未来が見える世の中に一刻も早くなる事を願うばかりです。

伊井 渡

編集後記

発行責任者
議長 川口 誠二

議会だより編集委員会
委員長 大坪久美子
副委員長 伊井 渡
委員 森 茂生
委員 寺尾 高良
委員 橋爪 房義
委員 草場賢一郎
委員 角田 恵一
委員 萩尾 洋
委員 牛島 孝之